

CAMPSHIP ACADEMY

2026 CULTURE BOOK

THANK YOU

GET THE BEST MEMORIES AT CAMPSHP ACADEMY!

NOVEMBER/ 2026

VOL .02

キャンプシップアカデミーへようこそ。

まずは、このページを開いてくれてありがとう。

あなたはなぜここに来たんだろう。

子どもの笑顔のため。仲間と過ごす夏のため。

あるいは、もう一度本気で何かに夢中になるため。

理由は人それぞれでいい。

ただひとつたしかなのは

この夏あなたは誰かの「忘れられない一日」をつくる側にいる。

ここはただのキャンプじゃない。

火を囲み、声を枯らし、本気でぶつかって、心から笑う。

これから始まる夏はきっと簡単な日ばかりじゃない。

暑い日も、うまくいかない日も、くたくたになる夜もある。

それでも子どもが見せてくれる一瞬の表情に、

「ここに来てよかった」と思える日が必ずやってくる。

子どもたちの「できた！」の瞬間に、いちばん近くで立ち会える場所。

完璧じゃなくていい。

大切なのは、あなた自身が誰よりも夢中になること。

このカルチャーブックは、そんな夏を一緒に歩むための私たちからの最初の言葉です。

ようこそ、キャンプシップアカデミーへ。

ここから、最高の夏が始まる。

Table of Contents

02 Welcome Message

03 Table of Contents

04 Cultivate through Experience

05 Your Journey shapes the program

06 Message from Tom

07 Message from Nyos

08-09 Team Member Introducing

10 Three Promises to Children

11 CAMPSHIP's Style

12-13 7 values of CAMPSHIP

14-15 Case study

16-17 What dose CAMPSHIP mean to you?

18-19 Photo Gallery

GET THE BEST MEMORIES AT CAMPSHP ACADEMY!





体験で育て。

子どものやりたいと
親の体験させたいを叶える
自然体験プログラム

YOUR JOURNEY SHAPES THE PROGRAM

CAMPSHIP ACADEMY













キャンプシップアカデミーが
リーダーの皆さんに必ず伝えていること

誰よりも本気で、誰よりも楽しむ
その背中が子どもたちを動かす

それは「リーダーも、主役の一人」ということ

CAMPSHIP ACADEMY

Message

From Tom

僕だって誰よりも楽しむ

キャンプシップは、子どもたちの命を預かる場所。

その責任は大きいし、細心の注意が必要。

でも、だからといって僕たち自身が楽しむことを
忘れたら、それはキャンプシップじゃない。

















『楽しさは伝播する』
それが僕の信条。

だから、僕も誰よりも楽しむ。

そして、リーダーのみんなにも
心から楽しんでほしい。

それが子どもたちの
最高の笑顔につながるから。

CAMPSHIP ACADEMY

Message

From Nyos

キャンプシップを作るもの













キャンプシップの歴史を作ってきたのは、
参加者だけではない。
実はリーダーによって作られてきたもの。

挑戦する子どもたちの背中を押し、
リーダー自身も挑戦し笑い合う。

その『本気』の積み重ねが
今のキャンプシップを作っている。

だから、ぜひ子どもたちと同じくらい、
リーダーもこの時間を楽しんでほしい。

最高のキャンプは子どもだけが
楽しむキャンプではなくて、

リーダーも一緒になって
楽しむキャンプだから。

Team Member Introducing



たけのこ
BRAND MARKETING
CUSTOMER SUPPORT
BUSINESS DEVELOPMENT



いっちー
PROGRAM MANAGEMENT
BUSINESS DEVELOPMENT



りょうた
PRGRAM MANAGEMENT
GEAR



やまと
PRGRAM MANAGEMENT
BUSINESS DEVELOPMENT
GEAR



れいな
CUSTOMER SUPPORT



ななちゃん
GEAR
LEADER SUCCESS



ゆうき
LEADER SUCCESS



にんにん
BRAND MARKETING



すず
BRAND MARKETING
PHOTOGRAPHER



まゆゆ
BRAND MARKETING



ほりもっちゃん
CORPORATE



あかり
CORPORATE



初日のチェックインで子どもたちと一緒に確認している大切な約束

いかなる暴力も許さない

たたく・ける・どなる・仲間はずれにするなどはもちろん、
相手が嫌だと思うことをやらないのがキャンプシップ。
体の痛みも、心の痛みも、痛いのはおなじだから。
もし誰かが悲しい思いをしていたら、
見て見ぬふりをしないこと。
それも、ひとつの「暴力をゆるさない」ということ。
このキャンプにいる間、
みんなの「安心」はみんなで守る。
だからあなたも仲間の「安心」を守る一人になってほしい。

働かざる者食うべからず

働かない人はご飯を食べられません。
キャンプは、誰かがやってくれる場所じゃない。
ごはんの準備、片づけ、テントの設営。
ぜんぶ、みんなの手でつくる毎日。
何事も人任せにせず、動いてみる。
すると、不思議とその後のごはんはいつもよりおいしい。
汗をかいたぶんだけ、楽しさは大きくなる。
自分にできることを、自分から見つけてやってみよう。
その一歩が、キャンプ全体を動かしていく。

自由とチームワーク

キャンプシップは基本自由。
やりたいことはやりたいと伝えていい。
やりたくないことはやりたくないと言っていい。
ただ、チームワークが必要になる瞬間はキャンプ中にたくさんある。
「やる」と決めたら切り替えてやる。
一人ではできないことも、仲間となら越えていける。
得意なことは、誰かを助けるために使う。
苦手なことは、「助けて」と言っていい。
できる/できないより、声をかけ合えるかどうか。
それがいいチームの分かれ道。
年齢も、性格も、得意なこともバラバラでいい。
違うからこそ、力を合わせたときに大きなことができる。

P.10

CAMPSHIP ACADEMY'S STYLE

To a place where you feel comfortable

01



可能性を信じる

キャンプシップのリーダーは、
子どもを指導する人ではない。
「できるようにさせる」のではなく
「きっとできると信じる」。
失敗してもすぐに答えを与えず、
子ども自身が考え、
挑戦する時間を大切にする。

02



本気がかっこいい

子どもは本気な大人についてくる。
だからキャンプシップのリーダーは、
恥ずかしがらず、手を抜かず、
誰よりも本気で楽しむ。
その本気は、子どもたちの憧れになる。
「あのリーダーみたいになりたい」
そう思われる存在であろう！

03



心地よい居場所に

プログラムの成功に大切なのは、
「また来たい」「ここなら自分らしくいられる」
と感じてもらうこと。
目立つ子だけでなく、静かな子も、
初参加の子も、少し不安そうなあの子も、
誰一人おいていかない空気をつくろう。

04



リーダーも成長

ここは子どもだけの学びの場ではない。
挑戦・失敗・振り返り・また挑戦。
その姿をリーダー自身が体現していこう。
完璧なリーダーはいないし、必要ない。
子どもたちと一緒に成長し続けるリーダーこそ、
キャンプシップらしいリーダー。

7つのVALUE

“ Enjoying yourself ” is our motto.

01

子どもの安全と健康が最も大切である。

安全と健康が守られてのキャンプ。困ったことがあったら、運営や社会人リーダー、ベテランリーダーをたくさん頼ってほしい。

02

子どもの意見・意思を傾聴・尊重し、対話する。

子どもたちの意見を軽視する行動はしない。
例）威圧的な言葉を使う、子どもの意見を聞かない、適当に聞き流す、など。

03

好奇心を掻き立てる選択肢を積極的に選ぶ。

リーダーの独断で決めつけるのではなく、子どものやりたい！挑戦したい！に耳を傾け、対話の中から好奇心のヒントを見つけて欲しい。

04

リーダー自身がキャンプを楽しむ！

リーダーもキャンプの主役。「頑張らなきゃ」という気持ちよりも「楽しもう！」と思う気持ちは行動が、プログラムをさらに良くする。



リーダーが楽しむという価値

05

子どもが「まあやってみるか」と自ら動き出す環境づくりをする。

話を聞かない子どもを従わせようとするのではなく、
自分が逆の立場だったらどうしたいかを考えてみよう。

06

自分だけで悩まない。困ったら周りに助けを求めよう。

健全に頼る、お互い助け合う、がキャンプの鉄則。
疲れたら「手伝って」と言える関係性や、
他の人が疲れてたら「休んでいいよ」と言える
親切心を持とう。

07

このキャンプを最高のものにしたいという気持ち！

キャンプに絶対的な正解はありません。
自分が「こうしたらもうちょっと良くなるかも、楽しくなるかも」と思ったら、どんどん挑戦しよう。

CASE STUDY:

こういうときどうする？











CASE 01｜「やりたくない」と動かない子がいる

オリエンテーリングの集合時間。
一人だけ「やりたくない」と座り込んでいる。

HOW TO SOLVE THIS SITUATION:

まず「やりたくないんだね」と、
その気持ちをそのまま受け止める。
無理に立たせない。
理由は「眠い」かもしれないし、
「失敗が怖い」かもしれない。
急がせる代わりに、役割を一つ渡してみる。

「地図を持つの、頼める？」
主役の椅子を用意すると、
子どもは自ら動き出すことが多い。







CASE STUDY:

CASE 02｜盛り上がりすぎて収拾がつかない

キャンプファイヤーやパーティーで
テンションが最高潮。
指示が全く通らない。

HOW TO SOLVE THIS SITUATION:

大声で抑えにかかると逆効果。
声を“張る”のではなく、合図を決めておく。
手をリズムよく叩いて注目を集めるなど、さまざま。
ちょっとした工夫で子どもたちの注目は集まる。

そして、盛り上がりは“悪”じゃない。

約束を破らない範囲なら、その熱はキャンプの宝物。
リーダーが一番楽しんでいい場面でもある。

切り替えが必要なときだけ、短くはっきり。

CAMPSHIP ACADEMY P.15

あなたにとって
キャンプシップは？

The roots of the leaders gathered here.

01



キャンプシップに出会って
僕の人生は動き始めた

子どもたちは、素直でまっすぐ。
その姿に感銘を受けた。
自分も素直になれて、人生が何倍も楽しくなった。

02



大学生活に
彩りを与えてくれる

新たな仲間に出会える、私の第3の居場所。
人とのつながりや挑戦が、
私の大学生活を価値あるものにしてくれる。

03



私の大学進学の
決め手をくれた場所

大学の進学先を悩んでいた時、
志望校に通うキャンプシップのリーダーがとてもかっこよく
「こんな人たちがいる場所で学びたい！」と思った。

04



サードプレイス

CAは母校のように温かく、つい帰りたくなる場所。
大人になると深い関係の友人を作ることは難しいが
CAでは自然にできてしまう。

あなたにとって
キャンプシップは？

The roots of the leaders gathered here.

01



大人も本気になれる。
自分を磨ける場所。

固定化した日常が、
多様な仲間と自然に挑む中で一変。
自分の人生を豊かにしてくれる最高の場。

02



大大大家族！！！

受験期に1年ほど離れても
当たり前のように受け入れてくれる場所。
いつ帰ってきても大丈夫、
「またね」と言いたくなる人と場所が沢山集まっている。

03



青春のつづき

子どもたちのキラキラした無邪気な笑顔と、
信頼できるリーダーと共に笑い過ごす素敵な瞬間。
こんなにもワクワクする時間というのは、
青春としか言いようがない。

04



縁を感じ、
自分を見つめ直せる空間

縁あって集った仲間と非日常の体験を共有。
新たな発見や課題に向き合い、日常へと戻る。
その繰り返しが、自らの成長につながる。









CAMP
ACAD
CULT
BO
20

























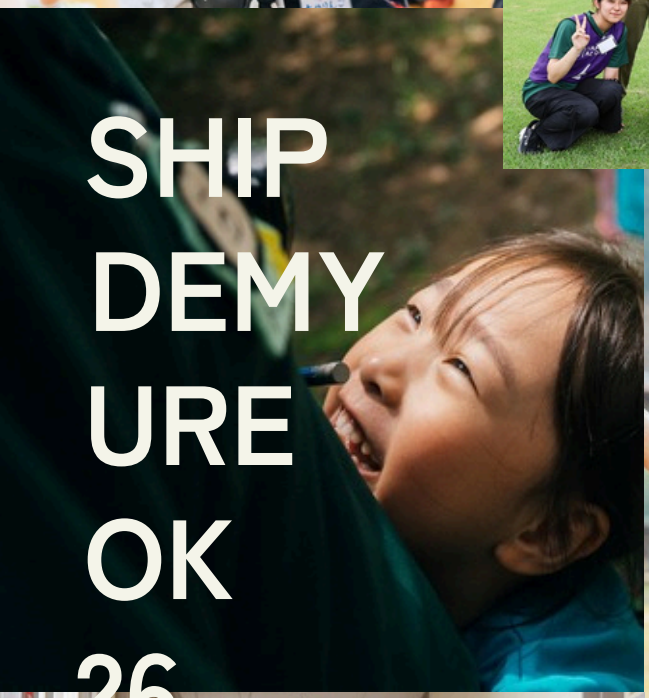







SHIP
DEMY
URE
OK
26



NAME